はリンク はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 グループホーム 高松

日付 平成 19年 12月 22日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調查員:薬剤師・介護支援専門員

介護経験歴7年

自主評価結果を見る (工事中)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

2.評価結果(詳細)

」運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	入居者を孤独にさせない 精神的なケアを大事にする が出来る入居者を集め過ご ろうと考えています。見守 葉かけを心がけています。	こと、まし易い環	は同生活 環境を作

Ⅱ 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして!	取り組んでいる:	ものは何か
記述回答	ゆっくりした生活に合わせて暗す。職員は一人にさせないような葉かけをしっかり行っています。 を否定せず、上手にコントロール 定期的に関連施設からセラピーが 入居者は大変楽しみにしているよ	見守りを 入居者の していま が来てく	行い、言 やること す。また

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

1.評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

入居者にとって身近な地にあり、 心身ともに落ちにないが前にったが で下が向にないが前にないが で下が向にないが で下が向はでいる でで下が向ける ででででいます。 ででです。 がはいる をがいます。 がはいる をがいます。 をがいまする。 をがいまる。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

昨年と同様、毎朝の申し送りは全体で行っているので情報は共有しているようですが、ユニット間の垣根が高く感じるあまり、交流があまり出来ていないようです。入居者全体に言えることですが加齢とともに行動範囲も狭くなり、外出して他の人と会う機会も減ってきているようです。職員の考えが少し保守的に感じた部分もありました。また入居者は毎日のパターンを変えることを嫌がる傾向があるので、予定等は入居者の状態や天候を見て変更していましたが、職員は毎日の介護の消化の上から判断しているように見えました。

また地域との繋がりが少ないようです。運営推進会議もあまり開催していないようですし、グループホームなどで行う祭りが地域との接点のようです。家族や職員が連れてきた子どもを見ると入居者の表情も生き生きするようなので、参考に考えて欲しいものです。

Ⅲ ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ 医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護	のため取り組んで	ごいるものは何か
記述回答	部屋の扉には、のれんを	掛けて直接	部屋の

中がのぞかれないように工夫されています。 また加齢とともに出来ない事が増えてきましたが、周りの人に対して恥ずかしい思いをさ せないような配慮が随処に見られました。

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を	を契機として、努力し	ているものは何か
記述回答	勉強会など、積極的に参加してレベルアッ プに努めています。また転倒防止のため可能		

プに努めています。また転倒防止のため可能 性のある入居者の居室には手作りのセンサー を設置し、夜間など目が届きにくいときにも 把握できるよう工夫しています。